

道路事業

第8期北海道総合開発計画に基づき、主要施策である「食料供給基地としての持続的発展」、「世界水準の観光地の形成」及び「強靱で持続可能な国土の形成」を推進するための道路事業を行います。

オホーツク圏はすぐれた資源（農林水産物、観光、自然）がありますが、他圏域とのアクセスを妨げる峠部が存在し、また、冬期は流氷により海路が閉ざされるため、道路は重要な交通手段となっており、近年多発する暴風雪や台風などの自然災害が大きな課題となっています。

こうした状況を改善するため、高規格道路の整備、防災対策など安全・安心で豊かな暮らしを支える道づくりを進めます。

1. 食と観光を担う生産空間の維持・発展と人が輝く地域社会の実現

◆ 広域分散型社会を支える高規格道路ネットワークの整備

広域分散型社会を形成している北海道において、食・観光等の基幹産業を支えるとともに、国土の強靱性を確保し、地域間の連携強化を図るため、高規格道路ネットワークの整備を推進します。

- 旭川・紋別自動車道(国道450号)
遠軽上湧別道路 L=13.8km
- 北海道横断自動車道(網走線)(国道39号)
端野高野道路 L=14.3km
- 遠軽北見道路(国道333号)
生田原道路 L=5.7km



遠軽北見道路 生田原道路

2. 世界水準の観光地の形成

◆ 地域資源を活かした多様な観光メニューの充実

● 北海道ドライブ観光促進プラットフォーム等の取組

外国人ドライブ観光の促進に取り組む「北海道ドライブ観光促進プラットフォーム」において、ポストコロナのインバウンドニーズを捉え、地域活性化に活かせるよう、外国人観光客の移動経路等のデータを分析・提供することにより、地域の受入環境整備・改善の検討を推進します。

● 「シーニックバイウェイ北海道」の推進

「シーニックバイウェイ北海道」において、魅力ある道路景観を地域の重要な観光資源の一つとして確立するため、特に魅力的な区間について景観の維持・形成、情報発信を重点的に推進するシーニックバイウェイ「秀逸な道」の取組を引き続き推進し、地域との協働を通じて生産空間のコミュニティ維持を推進します。



「秀逸な道」認定区間
国道334号 斜里町 プユニ岬(冬)

● サイクルツーリズムの推進

世界水準のサイクルツーリズム環境の実現に向け、安全で快適な自転車走行環境やサイクリストの受入環境の改善、情報発信等の取組を推進します。



国道244号 小清水町

- ・オホーツクサイクリングルート
美幌峠や石北峠、網走湖、能取湖、オホーツク海などの雄大な自然、季節により移り変わる美しい景観・匂の味覚を楽しめるルート

令和5年度 道路事業の概要

路線名	主要事業
E39 旭川・紋別自動車道(国道450号)	[遠軽上湧別道路] (高規格道路の整備)
E61 北海道横断自動車道(網走線)(国道39号)	[端野高野道路] (高規格道路の整備)
遠軽北見道路(国道333号)	[生田原道路] (高規格道路の整備)
国道238号	[紋別防雪] (防雪対策の整備)(令和6年度 全線開通予定)
国道39号	[北見大通電線共同溝][北見本町電線共同溝] (電線共同溝の整備) [北見大町電線共同溝][網走市街電線共同溝] (電線共同溝の整備)
国道39号ほか	交通安全・交通事故対策の整備 交差点改良 : 国道238号 湧別錦町交差点改良(令和5年度新規事業化)、雄武市街交差点改良 視距改良 : 国道239号 天北峠視距改良 国道242号 北光視距改良 国道334号 神浦視距改良 国道334号 開陽視距改良 路肩改良 : 国道39号 泉路路肩改良(令和5年度新規事業化) 国道333号 栄路路肩改良、大成路路肩改良(令和5年度新規事業化) 国道334号 峰浜路路肩改良(令和5年度新規事業化)、朱円路路肩改良、美和路路肩改良、千草路路肩改良 登坂車線整備 : 国道240号 相生登坂車線整備 老朽化・防災対策の整備 橋梁修繕 : 国道39号 北見市ほか 舗装修繕 : 国道239号 西興部村ほか トンネル修繕 : 国道333号 北見市ほか 防雪対策 : 国道238号 雄武町

3. 強靱で持続可能な国土の形成

◆ 災害からの迅速な復旧を支える道路交通ネットワークの耐災害性強化

災害からの迅速な復旧と、早期の日常生活・経済活動の再開を図るため、災害に強い国土幹線道路ネットワークの構築を推進します。



国道238号 紋別防雪
(令和6年度 全線開通予定)



国道39号 赤岩法面对策工事

◆ 冬期交通の確保



国道334号における除雪作業状況

冬期の安全・安心を確保するため、冬期災害に備え、代替性確保のための高規格道路の整備、国道における防雪対策、雪処理施設の整備、大雪・暴風雪時の対策等を推進します。

◆ 防災、通行の安全、景観の向上に資する無電柱化の推進

道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興の観点から、低コスト技術を積極的に導入しつつ、無電柱化推進計画に基づき、各道路管理者・関係事業者の連携の下、新設電柱の抑制及び無電柱化のスピードアップを図ります。



国道39号 北見駅西地区

◆ 交通安全対策の推進

事故多発区間での事故データを用いた分析やビッグデータを活用した潜在的危険区間の分析により、事故の危険性が高い区間を抽出して重点的な対策を実施する「事故ゼロプラン」を推進するとともに、通学路における安全対策においては、通学路合同点検の結果に基づき、対策を推進します。



国道334号 斜里町線形改良

※ 事故ゼロプラン：交通事故の危険性が高い区間である「事故危険区間」の交通事故対策の取組

◆ 社会経済活動を支える道路施設の老朽化対策

道路施設が有する機能を長期にわたって適切に確保するため、各施設に応じた点検及び計画的・効率的な維持管理を図り、適切な老朽化対策を推進します。



国道39号 橋梁点検



国道39号 附属物(道路標識)点検